

診療科目：救命救急センター

カテゴリー：基本 or 選択科目

一般目標：救命救急センターでは、様々な救急患者を全身的に観察し、検査や治療の優先順位を判断でき、蘇生やショックの初療に必要な知識・技術を習得し、さらに ICU に入院した後も、集中治療を施すことができる臨床医に必要な基本的な知識、技能および態度の習得を目的とする。

担当科：救命救急センター

期間：3ヶ月

## A. 指導体制

### 1. スタッフ

役割	氏名	職名	医師登録年月日
責任者	広田 幸次郎	救命救急センター長	1984. 6. 5
指導医	吉田 昌弘	診療部長待遇	1992. 5.22
指導医	米田 高宏	診療部長待遇	1992. 5.29
指導医	河田 将行	医長	1996. 4.30
指導医	原田 淳	医長	1984. 5.24

## B. 指導原則・方法

1. 研修期間中、指導医の指導下に、救急患者（主として2次、3次対応患者）を担当し、さらに集中治療を必要とする患者の治療に専念する。
2. 毎週月曜、木曜日の朝に行われる ICU 回診に参加する。
3. 毎週木曜日に行われるカンファレンスに参加する。
4. 月に5 - 6回の当直を行い、緊急患者の症例を数多く経験する。
5. そのつど、Advanced Cardiovascular Life Support (ACLS)コース、Japan Advanced Trauma Evaluation and Care (JATEC)などの標準教育プログラムを積極的に取り入れた講義を行う。

## C. 週間スケジュール（表）

曜日・時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19							
月	回診	診療																	
火																			
水																			
木	回診										カンファレンス								
金																			

毎朝 8:30 からミーティング、カンファレンスは救命士と合同で木曜 17:30-18:30

#### D. 科目責任者からのコメント

当院は、あらゆる重症度に対応する高度総合救急医療をめざし、救急車で搬送される内因・外因系疾患の初期診療が研修できるほか、重症患者に関しては、その後継続的に集中治療室にて治療を担当することができます。様々な症例を経験する中で、救急医療に必要な知識、技術および態度を指導医が教育、指導します。

尚、静脈確保や挿管・人工呼吸及び中心静脈穿刺、カテーテル挿入等のプライマリ・ケア習得を目的に麻酔研修も兼ね合わせます。